

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

## 1 施設名

大場地域ケアプラザ

## 2 事業計画

地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

大場地域ケアプラザの担当エリアは、あざみ野団地やイディオス等、大型の団地やマンションもありますが、全体的には戸建ての住宅の多い地域です。坂の多い地形で、入り口に階段のある住宅も多く見られます。そのため、高齢になり足腰が弱ると外出が困難になることなどが懸念されます。

ケアプラザは、駅から離れた場所にあること、坂の上にあることなどから、一部地域の方には利用しづらい立地条件にあります。また、大場町はエリアが広いため、最寄りのバス停からケアプラザに直通で来ることができず、バスと電車の乗り継ぎが必要な地域もあります。

ケアプラザの自主事業では「健康」「認知症予防」などのテーマには関心が高く、このようなテーマで実施すると他の自主事業よりも参加者が多い傾向があります。

年少人口比率はあざみ野四丁目（14.8%）、荇子田一丁目（15.1%）、荇子田三丁目（14.1%）、大場町（13.6%）、みすずが丘（14.8%）等、まとめて新しい住宅の建築がある地域では、区平均（13.4%）と比べ高くなっています。

一方で、高齢化率は、あざみ野二丁目（23.3%）、三丁目（30.4%）、元石川町（22.7%）、大場町（20.9%）と、青葉区（20.9%）に比べ高くなっている地域が多くあります。（「横浜市統計ポータルサイト」より人口データを基に算出。平成30年3月現在）

また、地域の課題としては

1. 横浜市青葉区は男性の平均寿命が全国一となっていますが、ケアプラザでの登録団体、自主事業への参加の割合は女性の方が高い傾向にあります。そうしたことから男性がより参加でき、活躍できる事業と場づくりが求められています。
2. 子育て世代が多く、より身近な地域で子育て中の保護者が交流したり、情報交換や育児の悩みを相談できたりするような様々な場所があることが求められています。また、地域のそうした場の情報が十分に伝わっていない現状もあることから情報をよりわかりやすく発信していくことが求められています。
3. ここ数年、認知症に関する相談の件数が増えており、認知症に関する知識の普及啓発や地域ぐるみで認知症の方を支える仕組みづくりの必要性が高まっています。また消費者被害も青葉区は市内で被害額が多く、講座の開催に加え、地域で被害を防止し警戒していくための新たな取り組みの必要性を感じます。

### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

#### 【高齢者】

高齢者が住みなれた地域で安心して、その人らしい生活を継続していくことが出来るよう、地域活動交流と地域包括支援センターが連携し様々な相談をお受けします。

本人のみならず家族や地域の状況等も踏まえ、必要に応じて訪問を行い、的確に状況把握を行い適切な機関、制度、サービスに繋げていきます。

#### 【子ども】

地域の子育て支援に関する情報収集に努め、お問い合わせに対して必要な情報発信ができるように努めます。

地域の主任児童委員と連携して取り組めるよう良好な関係性の構築に努めます。また、本年度は中里・すすき野地区の子育て連絡会を中心に情報マップを当事者を交えながら作成し情報発信に努めます。

相談内容によっては必要に応じて区役所やラフールなど関係機関を紹介します。

#### 【障害】

地域の関係機関との連携強化に努め、相談内容に応じて必要な情報発信ができるよう心がけます。

相談内容によっては必要に応じて関係機関を紹介します。

### (2) 各事業の連携

地域交流・生活支援コーディネーター・包括支援センターが協力して、事業に取り組んでいきます。具体的には、介護予防体操教室や、地域デビューを目指すバルンアート講座、ウォーキング講座、認知症カフェなどを実施します。

月に1回は5職種会議を開催し、情報共有や自主事業等の検討を行っています。

また、地域交流事業の参加者で、気になる方には、包括支援センターを紹介したり、包括支援センターに相談があった方で、介護保険ではなく、地域交流事業への参加が適当と思われる方には、地域交流事業を紹介する等、互いに情報発信を心がけます。

また、地域交流事業で、高齢者を対象とする際には、適宜、包括支援センターからの情報発信の機会を作るなど、情報発信に協力していきます。

### (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

それぞれの事業ごとに、必要な資格要件を満たした職員を人員配置基準に従って適正に配置します。状況に応じて人員配置基準以上の職員を配置します。

また、それぞれの専門分野における研修の受講や同職種間での勉強会（法人内20ケアプラザ合同）を実施します。

職員同士が連携、協力し事業や業務に取り組むことで相互に育成し合える職員体制の構築に努めます。

また、ケアプラザは公の施設として、住民、地域団体、事業者等に対して公正中立な立場で課題解決に向けた業務運営にあたります。

#### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

地域関係団体との連携を実現するために地区民生委員児童委員の定例会など地域の定期的な会合へ地域包括支援センター職員と地域活動交流・生活支援コーディネーター職員が参加し情報交換・共有を図ります。

また、地域福祉保健計画推進会議のメンバーの一員として、地域の関係機関との連携に努めます。

「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」を目指す「健幸笑てん」について、運営がスムーズに行えるよう協力してサポートに努めます。

「健幸笑てん」の取り組みについてメンバーと連携してまいります。

地域ケア会議等を通じて地域包括ケアシステムの構築を行います。

#### (5) 区行政との協働

青葉区地域福祉保健計画に基づき、区や地域福祉保健計画推進会議のメンバー、青葉区社会福祉協議会等と連携してよりよい地域づくりを目指します。

区役所の地区担当と連携して、総合相談の支援や定例カンファレンス、介護者のつどい等の企画、実施について取り組みます。また、虐待や支援が困難なケース等についても適宜、区役所と連携して支援を行います。

区役所と協働で医療と介護の連携を目指します。

## 2 地域活動交流事業

#### (1) 自主企画事業

地域包括支援センターと共催で介護予防事業に取り組みます。具体的には、参加者に好評の「健身操」「スクエアステップ」等を継続します。「元気が出る体操」は次年度以降の自主化に向けて、支援してまいります。

子育て支援では、引き続き、子育て広場にイベントを取り入れるなど、現状の参加者ニーズに合わせた取り組みを行います。また、親と子のつどいの広場との共済事業などにも引き続き取り組んでまいります。

#### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

ケアプラザ利用登録団体に対しては積極的にボランティア活動が出来る場の紹介を行います。

デイサービスでの活動の他、地域団体主催のサロン等でのボランティア活動なども必要に応じて紹介するように努めます。

また、ケアプラザの立地条件から日曜・夜間の利用者は少ない状態ですが、より利用しやすい施設とするため、利用者の少ない休日・夜間については、車での来館についての規制を緩和し、車での来館を可能な限り認めるようにしています。日曜・夜間について、より気軽に利用して頂けるよう引き続き周知します。(平日昼間については駐車スペースの関係から1貸室ごと1台の駐車可としています。)

また、地域の方が来館され、情報を求められた際には、各団体についての情報を積極的にお知らせするように心がけるとともに、館内の掲示板を地域団体に開放し、依頼があった場合にはチラシを掲示しています。

登録団体用のチラシラックを用意し登録団体が来館者に向けて情報発信できるようにしています。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

年1回ボランティア交流会を開催し、登録団体やデイボランティア等が横のつながりができるように取り組んでいきます。また、ボランティア交流会では、ボランティアの学びの機会となるように講座を取り入れるなどします。

3年前（平成27年度）に立ち上がった「ボーイズクラブ」では、地域の方、特に男性が、地域の様々な団体と出会えるきっかけづくりを行うことを目的として、様々な地域イベントを行っています。今後も継続した活動が続けられるよう、企画検討や運営等について引き続き支援します。

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

社会資源の状況や地域のニーズを把握するために地域の関係団体の会合への参加、ケアプラザ利用団体の方や事業参加者へのアンケートの実施等情報収集に努めます。

広報誌を月1回発行し積極的にケアプラザのPRや各種情報を提供すると共に各種チラシを作成し、よりわかり易い情報を提供いたします。

チラシについては、子育て支援事業については、ラフールやこども家庭支援課に定期的に発送し情報発信の協力を依頼します。

また、本年度は、中里・すすき野地区子育て連絡会を中心に子育て情報マップの作成を当事者を中心に行うことを企画しており、その支援をしていきます。

ホームページの継続的な更新を行うとともに、あおばみん等も活用して情報発信を行います。様々なツールから地域の方が情報をキャッチできるよう多様な情報発信に努めます。

## 3 生活支援体制整備事業

### (1) 事業実施体制

日常生活に関わる課題に対して、生活支援コーディネーターが中心となって5職種で連携・協働し、支えあえる地域づくりを支援していきます。又、多職種それぞれの立場で地域と関わる中で得たニーズや地域情報などの共有を図ります。

### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

ア. 地域のニーズを把握するために各関係団体に日常生活上のアンケートを行います。  
イ. 顔の見える関係作りの構築と社会資源の把握の為、地域で行われている活動（サロン等）に参加し地域情報の収集を行います。又、民間企業を訪問し高齢者を対象とした取組みを把握します。

ウ. ケアプラザが得た情報（ケアプラザ事業の参加者状況・総合相談内容・地域ケア会議等）の分析を行い、個別課題・エリア課題の把握に努めます。

エ. サービス事業者と連携して、ニーズの把握に努めます。

### (3) 連携・協議の場

- ア. 地域活動交流コーディネーターとバルーンアート教室を実施します。共通の趣味関心事を通して、地域活動の担い手の育成、ならびに地域活動の活性化を目指します。
- イ. 地域包括支援センターや日本体育協会と連携してボランティア講師（体操やウォーキング、シニアスポーツなど）の育成を行います。
- ウ. 「健幸笑てん」の取組みを通して地域の課題共有と地域活動団体同士のネットワークづくりを目指します。
- エ. 生活圏域が重なる近隣ケアプラザ（美しが丘/たまプラザ/すすき野）と連携して『ちょこっとボランティア養成講座』を実施します。高齢者（要支援者・事業対象者等）の日常生活におけるお困り事に対応できる環境づくりを目指します。
- オ. 自治会町内会・老人会・民生委員と連携して、課題を共有し解決に向けた話し合いを行います。（地域ケア会議・健幸笑てん等）
- カ. 課題解決に向けて民間企業と連携します。

### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ア. 単一自治会エリアでの地域分析のなかで共通した課題に対しては、エリアの隣接するケアプラザ・区社協・地区社協・サービス事業者（ケアマネジャー等）・民間企業等と連携し、情報共有を図りながら解決に向けて取り組んでいきます。
- イ. 山内地区・中里地区での定例会（地域福祉保健計画会議・民生委員・児童委員協議会等）に参加し、情報収集・共有をはかります。
- ウ. 地域課題の視覚化とその課題を多くの主体と一緒に考えることができるよう、『支えあいマップ』等を活用した情報共有化と解決に向けた取組みを地縁組織と協力しながら進めます。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### （1）総合相談支援業務

#### ①地域におけるネットワークの構築

- ア. エリア内にある自治会や民生委員、ボランティア、福祉および医療機関、行政などと協力して、地域の課題について協働して検討していけるよう取り組みます。
- イ. 「健幸笑てん」「カフェかやのき」の取組みを通じてネットワークの構築を行います。

#### ②実態把握

- ア. 月に1回、担当エリア内3か所の民生委員児童委員協議会の定例会に参加し、顔の見える関係づくりを行います。またエリア内の民生委員と直接話し合いをする場を設け、情報共有及び収集を行い、地域課題等の把握に努めます。
- イ. 地域の老人会や食事会、ミニデイや体操教室、介護者の集まり等に積極的に参加し、情報収集及び提供を行います。
- ウ. 個別ケース及び地域について、必要に応じて訪問を行い、本人や家族、近隣住民等から情報収集を行います。
- エ. 相談後に介護保険サービスに繋がらない方々には個別に訪問し個々の状況を継続して把握します。
- オ. 年に1回利用者アンケートを行い、情報収集に努めます。

### ③総合相談支援

- ア. 住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう本人、家族、近隣住民、民生委員などから様々な情報を受けます。相談を受けた際には的確な状況把握を行い、適切な情報提供や支援を行うとともに、必要に応じて緊急対応を行います。
- イ. 地域包括支援センターが身近な相談窓口であることをケアプラザの掲示板・広報誌・ホームページ、また職員が地域の関係団体の会合や行事等に積極的に参加するなどして周知していきます。
- ウ. 電話や来所相談以外にも職員が相談者宅に訪問し相談できる事を周知します。対応は迅速かつ柔軟、丁寧に行います。当事者や相談者と信頼関係及び気軽に相談できる関係性を構築するとともに、必要なモニタリングを行います。

## (2) 権利擁護業務

### ①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ア. 地域の方々がその人らしく暮らせるよう、適切な制度（成年後見制度や日常生活自立支援事業等）に繋げるとともに、制度の普及啓発に努めます。
- イ. 地域の方に成年後見制度や消費者保護に関する情報を講座や地域活動などを通して提供します。
- ウ. 成年後見制度、消費者被害者や虐待について説明を行い、地域の中で気になる事があれば連絡してほしい事を伝えます。
- エ. 自分から援助を求められない方を相談内容や実態把握の中から発見し、アプローチを行い、本人の意思を尊重しながら支援します。

### ②高齢者虐待への対応

- ア. 虐待が疑われる事例を把握した場合は迅速に区役所に報告し、必要に応じてカンファレンスの実施や訪問を行い、区役所と連携して状況に即した適切な対応を行います。
- イ. 毎月のケアマネジャー向け定例カンファレンス等で虐待の疑われるケースについての話し合いや情報収集を行います。地域住民や民生委員、医療機関や在宅サービス事業者等と連携を深めるなどして早期発見に努めます。
- ウ. ケアマネジャーが担当している虐待の恐れのあるケースについては同行訪問して状況を確認していきます。
- エ. 『介護者のつどい』を年 11 回、『男性介護者のつどい』を複数回（2 回以上）開催し、介護者支援を行うことで予防に努めます。

### ③認知症

- ア. 「認知症サポーター養成講座」をケアプラザや地域に出張して開催し、認知症の方やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」を、地域のキャラバンメイトと共に多数養成し認知症になっても安心して生活できる地域づくりを目指します。
- イ. 認知症カフェ「カフェかやのき」を毎月開催します。ケアプラザの 5 職種で連携しながら、キャラバンメイトや認知症サポーターと共に運営していきます。認知症当事者や家族の相談、地域の方々が情報を得られる、様々な専門職が集い意見・情報交換ができる、ボランティアの掘り出しやサポーターのフォローアップの場として活用していきます。
- ウ. 「介護者のつどい」を年 11 回開催し、介護者や介護を経験した方同士が交流できる場を設けます。認知症の方への対応方法などの情報交換を行い、介護者支援を行います。また「男性介護者のつどい」を複数回開催し、これをきっかけにカフェかやのきの中で共通の悩みを抱える介護者グループをつくり、認知症当事者と家族がともに参加で

- きる場を創出していきます。
- エ. 認知症支援について民生委員、地域住民、医療機関、在宅サービス事業者等との連携に努めます。
  - オ. 地域内2ヶ所のグループホームと認知症対応型通所介護の運営推進会議に出席し施設と地域を繋ぐよう努めます。
  - カ. 認知症の理解と、早期診断・早期治療につながり、本人や家族の居場所作りの立ち上げを、地域の方と共に行います。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ①地域住民、関係機関等との連携推進支援
- ア. エリア内3民生委員児童委員協議会に情報提供と顔の見える関係を継続するために、地域包括支援センターと地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターの5職種が協力して毎月訪問します。
  - イ. 地域の問題を一緒に考えていく機会として民生委員や関係者と話し合いの場を設けます。
  - ウ. ケアマネジャーと民生委員との連携を、8月に区内の他包括と合同で行います。お互いの更なる職種理解と相談し合える関係作りとなるようにしていきます。

- ②医療・介護の連携推進支援
- ア. 区役所と医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護職と顔の見える場づくりを行う連絡会（月に1回）に参加し、地域包括ケアをめざします。
  - イ. 包括カンファレンスにおいて、医師、訪問看護師、薬剤師を招いてケアマネジャーの医療の知識の向上につなげ、連携を図ります。
  - ウ. 青葉区内5連絡会（ケアマネジャー、訪問看護、訪問介護、通所介護、施設）の顔の見える関係、相談し合える関係づくりのための「ねっとわーく青葉」に参加します。全体会とエリア別の開催を予定しています。

- ③ケアマネジャー支援
- ア. 毎月エリア内の居宅介護支援事業所（6か所）の訪問を行い、ケースの相談や情報提供を継続します。
  - イ. 月1回程度、包括カンファレンスを行い、勉強会や意見交換会などを通して、ケアマネジャーのスキルアップに繋げ、相談しやすい関係作りに努めます。
  - ウ. 区内のケアマネジャーの勉強会に、区内包括支援センターとして順番で月1回参加し、支援をしていきます。
  - エ. 新人研修として年1回、区で募集を行い担当します。個別の研修や合同での研修で新人同士の連携ができるよう工夫していきます。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ア. 地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、地域包括支援センターが協働で取り組んでいる「健幸笑てん」について今年度も連携して取り組みます。
- イ. 自主事業において、特に高齢者支援事業においては地域活動交流コーディネーターや生活支援コーディネーターと共催で実施し、地域課題の共有と課題解決に向けた取組を協働で行います。
- ウ. 大場地域ケアプラザが力を入れて取り組んでいる認知症啓発活動についても地域活動交流コーディネーターと生活支援コーディネーターと協働して認知症サポーター養成講座等に取り組みます。
- エ. 毎月定期的に地域活動交流コーディネーターと生活支援コーディネーターと地域包括支援センターの合同会議を開催し、相互の情報共有や自主事業などの取組について検討や調整、計画を行います。
- オ. 地域ケア会議は、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと協働で開催し、地域の多職種の方々と課題の把握・解決に向けて検討し、ネットワーク構築を目指します。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

##### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ア. 住み慣れた地域で自分らしく自立した生活を送れることを目標に、必要なサービスを利用し、介護予防・健康づくりに取り組めるように支援していきます。
- イ. 地域のケアマネジャーとの連携に努め、同行訪問やサービス担当者会議に参加します。
- ウ. ケアマネジャー対象の介護予防従事者研修を区と協力して行います。総合事業における介護予防ケアマネジメントの方向性を伝え、共有していきたいと思えます。
- エ. 地域のインフォーマルサービスを積極的に利用し、介護予防・健康づくりに取り組めるようケアプランを作成、支援します。

#### (6) 一般介護予防事業

##### 一般介護予防事業

- ア. ロコモティブシンドローム予防や認知症予防運動、口腔ケア、栄養改善等2コース（4回シリーズ）の介護予防講座を行います。地域の方が参加しやすいように自治会館に出張し、介護予防の普及・啓発に努めます。
- イ. 地域活動交流や生活支援コーディネーターと協力し、地域の高齢者がいつまでも元気であるために、年2回体力測定を行います。また、体力測定結果説明会にて結果の説明のみではなく、介護予防の大切さ（運動・栄養・口腔ケア・社会的役割）について説明、ご自身の体力を知り健康管理の目安にいただき、体力の維持・向上を目指していただきます。
- ウ. 地域の方から要望があった、ノルディックウォーキング教室を生活支援コーディネーターと協力し、月に1回定期的に行います。膝や腰に痛みがある方も仲間と共にポールを持って歩くことで、ロコモ予防に取り組み健康づくりを行う機会を増やします。
- エ. 身近な場所で、健康づくり・仲間づくりができるサロンや元気作りステーション3か所目の立ち上げを、保健活動推進員や民生委員、地域のボランティアグループと連携してめざします。また、既に立ち上がっている居場所が継続できるように支援していきます。
- オ. 高齢者自らが介護予防に取組み、地域に介護予防の大切さを発信していただける体力



測定サポーターや認知症について理解し予防に取り組むサポーターを育成します。既に活動されているサポーターと共に地域の集まり等にて活動していきます。

カ. 元気なうちから介護予防を行う大切さを伝えるために、老人会やお食事会、サロン等地域の集まりに出かけ普及啓発を行う出前講座を行い、個別相談の機会につなげていきます。

## その他

- ア. 今年度も多角的な視点で当事者・家族・地域を支援できるよう、地域ケア会議を開催し、地域の関係団体等と地域課題の共有や協力体制の構築をはかりながら地域の方が住み慣れた地域で安心安全に暮らせる町づくりを目指します。
- イ. 介護予防を目的に日本体育大学と共催で「はつらつ体力チェック」を年2回実施し、地域の介護予防につなげます。
- ウ. 介護予防事業等について、地域の方が支援者（ボランティア）として参加できるよう講座等を開催し人材の育成に取組みます。
- エ. 地域の方と顔がみえる関係が構築できるようケアプラザ内に常時、交流ラウンジやプレイルームを設置し、交流を大切にすると共に必要な情報提供や支援を行います。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

地域の様々な方が快適・安全に利用できるように、施設・設備の管理・保守を行っています。具体的には、設備総合巡視、空調設備、消防設備、自家用電気工作物等の定期的な保守点検、定期清掃や日常清掃、衛生管理、緑化管理、不具合の対応等を専門の委託業者と契約し適切に対応していきます。

また、緑化管理については、年1回の植栽管理にとどまらず、お客様が快適に過ごせるような庭づくり、環境整備を行います。

#### イ 効率的な運営への取組について

指定管理の運営が適切に、且つ、効率的に運営できるように法人関係部署、各担当が連携して取り組みます。

市内中小企業優先を踏まえつつ、経費削減にむけ、法人本部と連携し、建物管理・保守、清掃等の委託業者の選定では電子入札等を実施します。また、法人のスケールメリットを活用し、法人内の他の施設と合同で車両リースの一括入札や消耗品の共同購入などを行います。

#### ウ 苦情受付体制について

法人の苦情解決規則に基づき、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者・苦情解決責任者を配置して、お客様からのご意見・ご要望・苦情など様々な声に対応するとともに再発防止や改善に努めます。

法人内で月1回サービス向上委員会を設置し、同一法人内の他の施設でいただいた、ご意見・ご要望も共有し全体で学んでいきます。

また、法人において公正・中立の立場から斡旋・調整を行う第三者委員を設置し適切な苦情解決に向けて取り組みます。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急時に備えて、各種対応マニュアル・BCP（サービス提供継続計画）を整備しています。年2回以上防災訓練を実施し、緊急時にケアプラザ職員がマニュアルに則り適切な対応がとれるよう災害時の備えを行います。

また、横浜市から福祉避難場所としての指定を受けており、災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所としての役割を担います。

防犯対策としては、警備会社と委託契約を結び、適宜対応ができる体制を整えています。

#### オ 事故防止への取組について

事故発生の際は、再発防止に向けて迅速に原因の究明・分析、対応策を検討し、報告書を作成し、市・区役所及び法人本部に報告します。また、ミーティングや全体会議で事例を報告すると共に、事故防止策について職員全員に周知を徹底します。さらに日常の業務においては、「ヒヤリ・ハット」報告の徹底とその後の共有化にて原因の究明および改善点の検討を行うなど、事故を未然に防ぐように努めます。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報の取り扱いには具体的な取り扱いとマニュアルを定め、全職員に徹底して保護に努めます。

具体的な対策は以下のとおりです。

- ア. 契約書、個人ファイルなどは施錠できるロッカーなどで保管し、個人情報を携帯する場合には紛失や情報漏えいのないようダブルチェックで確認後、最小限の情報のみを携帯するようにします。
- イ. FAX及び郵送物の誤送付や通所介護における誤配付がないよう、ダブルチェック等を行い、細心の注意を払います。
- ウ. 広報誌等において、個人が特定できる写真や記事等を掲載する場合には、必ず書面、または、口頭で了解を得てから実施します。
- エ. 個人情報保護の重要性に関しては、研修や日々のミーティングなどを通して職員へ周知していくと共に、個人情報の取り扱いについて細心の注意を払うよう繰り返し意識啓発を行います。

#### キ 情報公開への取組について

横浜市が制定する「情報公開条例」の趣旨に則り、当法人では情報公開規程を定めています。

公開している情報としては、法人の概要、サービス内容、財務状況、事業計画、事業報告等です。

また、情報開示に関する申し出があった場合は、個人情報保護に最大限配慮しつつ、積極的に情報開示に努めます。

#### ク 人権啓発への取組について

法人やケアプラザで人権に関する研修を定期的に行い、職員が人権を尊重した対応ができるよう取り組んでいます。虐待等の相談があった時には、区役所と共同で支援にあたり、必要に応じて関係機関と連携して支援を行います。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

省エネルギー対策、ごみの減量化など良好な環境の維持の為に、節電・節水をこまめに行ったり、コピー用紙の裏面使用を励行するとともに、資源ごみの分別収集に協力します。

植栽の管理等の環境保全の実施、夏季軽装での執務（クールビズ）・冬季の保温対策（ウォームビズ）に取り組むなど適正な冷暖房の使用に努めるとともに、不要な照明の消灯や使用していない事務用機器の電源を落とすなど環境保全や地球温暖化防止への取組も引き続き実施します。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

保健師担当看護師 1名  
保健師 1名  
社会福祉士 1名  
主任ケアマネジャー 1名  
介護予防プランナー 1名 (非常勤)

#### 《目標》

- ア. 住み慣れた地域で自分らしく自立した生活を継続できるように、適切なケアマネジメントを提供します。
- イ. 地域のケアマネジャーとの連携に努め同行訪問やサービス担当者会議に参加します。
- ウ. 自立支援に向けたケアマネジメントを目指します。
- エ. 地域のインフォーマルサービスを積極的に利用し、介護予防・健康づくりに取り組めるようケアプランを作成、支援します。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご本人が望む自立した生活ができ、要介護状態にならないようにケアマネジメントを行っています。介護保険サービス等のフォーマルサービスだけでなく、ご本人のニーズに合った地域活動等のインフォーマルサービスのご案内等を行います。

#### 《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
159	159	159	159	159	159
10月	11月	12月	1月	2月	3月
159	159	159	162	162	162

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（主任介護支援専門員兼務） 1名（常勤兼務）  
 介護支援専門員 3名（常勤専従）

《目標》

- ア. 特定事業所として質の高い適正な保健医療サービス及び福祉サービスが適正に提供されるよう公正・中立な立場で居宅サービス計画を作成します。
- イ. 関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・インフォーマルサービスを提供しているボランティア団体等との綿密な連携にてサービスの調整を実施します。
- ウ. 居宅サービス計画は利用者自身の意見を反映すると共に心身の状況や環境条件等に応じて利用者が自立した日常生活を営む事を目標に作成します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

公共交通機関の運賃分（明細書等を作成し提示します。）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. 特定事業所として質の高いケアマネジメントを提供します。
- イ. 関係機関や地域と連携して地域包括ケアの実現に努めます。
- ウ. 介護支援専門員実務研修の実習生の受け入れ行い人財育成に努めます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
102	102	102	104	104	104
10月	11月	12月	1月	2月	3月
106	106	106	105	105	104

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- ア. お客様の心身の特性をふまえ、身体状況に応じて入浴・食事・排泄などの介護が必要な方へお手伝いをします。
- イ. (個別) 機能訓練や口腔器機能向上等を希望される方には実施計画等に基づきサービスを実施いたします。
- ウ. 在宅生活を継続できる事を目標に自分でやってみたい事などに積極的に取り組めるよう各種活動を通して可能性を広げるための支援と環境づくりを行います。

《実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

ア. 1割負担分

(要介護1)	692円
(要介護2)	816円
(要介護3)	947円
(要介護4)	1076円
(要介護5)	1205円

イ. 食費負担 650円

※介護職員処遇改善加算(I) 加算率5.9%が加算されます。

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:30~16:35

《職員体制》 管理者 1名 生活相談員 3名 看護職員 7名  
 介護職員 27名 機能訓練指導員 7名

《目標》

- ア. お客様一人ひとりがご自分の能力や意欲をできる限り発揮でき、その人らしい生活を送れるように自己選択・自己決定を大切に取り組みます。
- イ. 自らの力で「できる」喜びを大切に、自信を持って生活していただけるよう支援を行ないます。
- ウ. お客様同士が自然に助け合える、社会性を育んでいきます。
- エ. 認知症のお客様に対する取組を強化していきます。研修を通して認知症に対する理解や知識を深めます。認知症のお客様が安心して過せるようお客様に寄り添い専門性を持って対応します。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ア. お茶・コーヒー・紅茶等自由に飲みたい時に飲めるように配慮しています。
- イ. 各種イベント(運動会・秋祭り)や野菜作り・ガーデニング・手芸・料理・マージャン・囲碁・将棋・合奏等々、お客様が生き生きと参加いただけるメニューを取り揃えています。
- ウ. ご本人の希望を重視し、季節に合わせた制作物を作ります。

《利用者目標(延べ人数)》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
654	702	675	677	702	677
10月	11月	12月	1月	2月	3月
677	677	626	626	626	701

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- ア. 認知症の症状に合わせた個別対応を心がけます。
- イ. それぞれのお客様の課題解決を目指した機能訓練を実施します。
- ウ. ご家族と連携しながら在宅生活を継続できるよう支援します。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- ア. 1割負担分
  - (要介護1) 1072円
  - (要介護2) 1188円
  - (要介護3) 1305円
  - (要介護4) 1422円
  - (要介護5) 1539円
- イ. 食費負担 650円

※介護職員処遇改善加算（Ⅰ）加算率10.4%が加算されます。

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:30~16:35

《職員体制》管理者 1名 生活相談員 3名 看護職員 7名  
介護職員 27名 機能訓練指導員 7名

《目標》

- ア. 一人ひとりのお客様が落ち着いて過ごせる環境づくりを目指します。
- イ. その人らしさが発揮できるようなプログラムの提供を行います。
- ウ. 認知症の進行が緩やかになるよう心身に対する機能訓練を実施します。
- エ. 当事者のみならずご家族に対しての介護相談などを行い、出来る限り在宅生活が続けられよう支援します。
- オ. 研修を通して認知症に対する理解や知識を深めます。認知症のお客様が安心して過せるようお客様に寄り添い専門性を持って対応します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. 音楽療法などオリジナルのプログラムを提供します。
- イ. 職員の配置を手厚くすることで個々の状態に合わせた対応を行います。
- ウ. 戸外における歩行訓練など実践的な機能訓練を取り入れます。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
200	216	208	208	216	200
10月	11月	12月	1月	2月	3月
216	208	192	192	192	208

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- ア. 要介護状態にならない様に筋力強化と共に日常生活での転倒予防と生活意欲と生活活目標が持てるよう支援を行います。
- イ. 趣味や興味を引き出し、積極的に社会交流が出来るよう支援します。
- ウ. 地域包括支援センターと連携をはかり総合的なサポートを実施いたします。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

ア. 1割負担分

- （要支援1） 1766円
- （要支援2） 3621円
- 運動器機能向上加算 242円
- 介護職員処遇改善加算（I） 加算率5.9%が加算されます。

イ. 食費負担 650円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30~16:35

《職員体制》 通所介護事業同様 : 一体型

《目標》

- ア. 要支援状態改善に向けた筋力の向上と生活に即した生活リハビリに重点を置き自立を目指した支援を行います。
- イ. 地域での交流や地域の一員としての生活意欲を発揮できるよう支援します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. 自主性を大切にして自己選択・自己決定の風潮を大切にしたサービス提供を行います。
- イ. 他の人との交流や思いやりの気持ちを大切に育みます。
- ウ. 自らの可能性を広げ新たな挑戦を行える環境づくりを行います。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
7	7	7	7	7	7
10月	11月	12月	1月	2月	3月
7	7	7	7	7	7



平成30年度「横浜市大場地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動＞

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,473,000		14,473,000	14,473,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,591,161		2,591,161	2,591,161	0	
収入合計	21,054,161	0	21,054,161	21,054,161	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,203,397	0	13,203,397	0	13,203,397	
本俸	8,783,519		8,783,519	0	8,783,519	職員俸給・非常勤給与
社会保険料	1,403,494		1,403,494	0	1,403,494	社保・労保・賞与社保
手当計	2,769,286		2,769,286	0	2,769,286	請手当・職員通勤費・非常勤通勤費・賞与
健康診断費	65,635		65,635	0	65,635	
勤労者福祉共済掛金	8,250		8,250	0	8,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	173,213		173,213	0	173,213	退職共済掛金
その他			0	0	0	
事務費	1,358,000	0	1,358,000	0	1,358,000	
旅費	17,786		17,786	0	17,786	
消耗品費	174,697		174,697	0	174,697	事務消耗品費
会議謝礼金			0	0	0	
印刷製本費	138,121		138,121	0	138,121	ポピーフォーマツス・コピー用紙
通信費	345,892		345,892	0	345,892	郵便・運送・電話・通信
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	61,114		61,114	0	61,114	賠償責任・業務災害・車両保険
職員等研修費	4,398		4,398	0	4,398	研修費・研修旅費
振込手数料	33,094		33,094	0	33,094	EB・為替手数料
リース料	276,274		276,274	0	276,274	
手数料	175,293		175,293	0	175,293	業務委託費システム・保守料システム・産業医・給与計算委託料・紙ごみ溶解機
地域協力費	113,936		113,936	0	113,936	議会費・広報費
その他	17,395		17,395	0	17,395	ガolin代
事業費	805,828	0	805,828	0	805,828	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算・指定額
指定管理料充当 事業	763,828		763,828	0	763,828	かやのき祭経費・消耗器具備品・保険料・賃借料・雑支出(諸謝金)
管理費	2,628,574	0	2,628,574	0	2,628,574	
建築物・建築設備点検			0	0	0	予算・指定額
光熱水費	0	0	0	0	0	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	1,325,118		1,325,118	0	1,325,118	定期清掃・特別清掃
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算・指定額
機械整備費	122,555		122,555	0	122,555	
設備保全費	706,901	0	706,901	0	706,901	
空調衛生設備保守	406,363		406,363	0	406,363	
消防設備保守			0	0	0	
電気設備保守	70,953		70,953	0	70,953	
害虫駆除清掃保守	39,816		39,816	0	39,816	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	189,769		189,769	0	189,769	ごみルート回収・植栽
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
公租公課	1,012,138	0	1,012,138	0	1,012,138	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	1,012,138		1,012,138	0	1,012,138	人件費に係る消費税
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他( )			0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二歳対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	19,007,937	0	19,007,937	0	19,007,937	
差引	2,046,224	0	2,046,224	21,054,161	△ 19,007,937	

自主事業費収入	763,828		763,828	0	763,828	
自主事業費支出	763,828		763,828	0	763,828	
自主事業収支	0	0	0	0	0	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市大場地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,828,000		28,828,000		28,828,000	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
駐車場利用料金収入	0		0		0	
その他(指定管理充当)	0		0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,780,393		1,780,393	1,780,393	0	
<b>収入合計</b>	<b>36,548,393</b>	<b>0</b>	<b>36,548,393</b>	<b>1,780,393</b>	<b>34,768,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,257,711	0	33,257,711	0	33,257,711	
本俸	20,775,158		20,775,158		20,775,158	職員俸給・非常勤給与
社会保険料	4,059,556		4,059,556		4,059,556	社保・劳保・賞与社保
手当計	7,761,414		7,761,414		7,761,414	諸手当・職員通勤費・非常勤通勤費・賞与
健康診断費	47,145		47,145		47,145	
勤労者福祉共済掛金	27,750		27,750		27,750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	586,688		586,688		586,688	退職共済掛金
その他			0		0	
事務費	1,162,687	0	1,162,687	0	1,162,687	
旅費	27,438		27,438		27,438	
消耗品費	32,471		32,471		32,471	事務消耗品費
会議謝金			0		0	
印刷製本費	149,121		149,121		149,121	ポニーフォームス・コピー用紙
通信費	220,382		220,382		220,382	郵便・運送・電話・通信
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分						
その他	0		0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	61,114		61,114		61,114	賠償責任・業務災害・車両保険
職員等研修費	64,681		64,681		64,681	研修費・研修旅費
振込手数料	33,094		33,094		33,094	E.B・為替手数料
リース料	237,873		237,873		237,873	
手数料	309,013		309,013		309,013	業務委託費システム・保守料システム・産業医・給与計算委託料・紙ごみ溶解廃棄
地域協力費	27,500		27,500		27,500	諸会費・広報費
その他			0		0	
事業費	1,529,258	0	1,529,258	0	1,529,258	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	439,258		439,258		439,258	消耗器具備品・保険料・賃借料・雑支出(諸謝金)
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000		151,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000		309,000	予算:指定額
管理費	698,730	0	698,730	0	698,730	
建築物・建築設備点検			0		0	予算:指定額
光熱水費	0	0	0	0	0	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	
水道料金			0		0	
清掃費	352,245		352,245		352,245	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
機械警備費	32,577		32,577		32,577	
設備保全費	187,908	0	187,908	0	187,908	
空調衛生設備保守	108,020		108,020		108,020	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守	18,860		18,860		18,860	
害虫駆除清掃保守	10,584		10,584		10,584	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	50,444		50,444		50,444	ごみルート回収・植栽
共益費			0		0	
その他			0		0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二入対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>36,648,386</b>	<b>0</b>	<b>36,648,386</b>	<b>0</b>	<b>36,648,386</b>	
差引	△ 99,993	0	△ 99,993	1,780,393	△ 1,880,386	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	0					
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

# 平成30年度 自主事業収支計画書

## 横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者 ②募集人数 ③一人当たり参加費	自主事業予算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
オアシス游	①70歳以上かつ 介護保険未利用	110,000円	地活	50,000円	60,000円		10,000円	100,000円	
	②24人		包括						
	③600円		介護						
			生活						
健身操	①概ね60歳以上かつ 介護保険未利用	127,680円	地活	12,480円	115,200円		120,000円		7,680円
	②20人		包括						
	③300円		介護						
			生活						
元気が出る体操	①概ね60歳以上	226,800円	地活		226,800円		216,000円		10,800円
	②20人		包括						
	③420円		介護						
			生活						
ボーイズクラブ	①地域の方	0円	地活						
	②特になし		包括						
	③その時による		介護						
			生活						
年賀状講座	①60歳以上の方	7,000円	地活	3,000円	4,000円		4,000円	3,000円	
	②15人		包括						
	③500円		介護						
			生活						
にこにこランド	①H30年度に2歳に なる子と養育者	176,640円	地活	62,100円	114,540円		172,500円		4,140円
	②10組		包括						
	③830円		介護						
			生活						
さくらんぼひろば	①未就園児と 養育者	5,000円	地活	5,000円				5,000円	
	②特になし		包括						
	③0円		介護						
			生活						
とっぴんぱらり	①未就園児と 養育者	36,000円	地活	34,800円	1,200円		36,000円		
	②10人		包括						
	③100円		介護						
			生活						
WITHクリスマス会	①未就園児と 養育者・妊娠中の方	0円	地活						
	②50人		包括						
	③0円		介護						
			生活						
幼児安全法	①地域の方	6,000円	地活				6,000円		6,000円
	②20人		包括						
	③0円		介護						
			生活						
にこにこランドプレ	①H31年度に2歳に なる子と養育者	0円	地活						
	②20人		包括						
	③0円		介護						
			生活						
チューリップシアター (人形劇公演)	①未就園児と養育者 地域の方	4,000円	地活	4,000円			4,000円		
	②30人		包括						
	③0円		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業収支計画書

## 横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
キッズフラワーアレンジメント	①4歳～中学生	23,000円	地活	3,000円	20,000円		3,000円	20,000円	
			包括						
			介護						
			生活						
	②10人								
	③1,000円								
面白科学で工作	①小学生	28,000円	地活	3,000円	25,000円		3,000円	25,000円	
			包括						
			介護						
			生活						
	②25人								
	③1,000円								
親子でクッキング	①小学生と養育者	8,000円	地活	4,000円	4,000円			8,000円	
			包括						
			介護						
			生活						
	②8組								
	③500円								
ボランティア講座(仮)	①地域の方	15,000円	地活	15,000円			15,000円		
			包括						
			介護						
			生活						
	②20人								
	③0円								
親あるうちの準備を考える連続講座	①地域の方	0円	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
	②50人								
	③0円								
全館清掃	①登録団体の方	10,000円	地活	10,000円				10,000円	
			包括						
			介護						
			生活						
	②20人								
	③0円								
かやのき名画座	①地域の方	64,550円	地活	64,550円					64,550円
			包括						
			介護						
			生活						
	②50人								
	③0円								
かやのき祭り	①地域の方	50,000円	地活	35,000円		15,000円	5,000円	45,000円	
			包括						
			介護						
			生活						
	②特になし								
	③0円								
納涼祭	①地域の方	25,000円	地活	7,000円	18,000円			25,000円	
			包括						
			介護						
			生活						
	②180人								
	③100円								
かやのき土曜コンサート	①地域の方	20,000円	地活	11,000円	9,000円		20,000円		
			包括						
			介護						
			生活						
	②50人								
	③100円								
東海道五拾参次の旅の魅力	①地域の方	2,000円	地活	2,000円			2,000円		
			包括						
			介護						
			生活						
	②50人								
	③0円								
東海道五拾参次ウォーキング	①地域の方	7,680円	地活	840円	6,000円		3,000円		840円
			包括						
			介護						
			生活	840円					
	②20人								
	③100円					3,000円		840円	

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業収支計画書

## 横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ボランティア交流会	①ボランティア	50,000円	地活	50,000円			25,000円	25,000円	
			包括						
	②50人		介護						
	③0円		生活						
認知症サポーター養成講座	①一般		地活						
	②		包括						
	③0円		介護						
			生活						
定例カンファレンス	①エリア内ケアマネジャ		地活						
	②		包括						
	③0円		介護						
			生活						
新任ケアマネ研修	①新任ケアマネジャー		地活						
	②		包括						
	③0円		介護						
			生活						
ねっとわーく青葉	①区内5連絡会		地活						
	②		包括						
	③0円		介護						
			生活						
あおばイキイキ！！元気塾	①高齢者全般	84,280円	地活						
	②40人		包括	84,280円			66,000円	18,280円	
	③0円		介護						
			生活						
はつらつ体カチェック	①高齢者全般	23,300円	地活						
	②100人		包括	23,300円			10,000円	13,300円	
	③0円		介護						
			生活						
結果説明会＋ミニ健康講座	①高齢者全般	25,420円	地活						
	②50人		包括	25,420円			20,000円	5,420円	
	③0円		介護						
			生活						
スクエアステップ	①60歳以上の方	30,000円	地活						
	②10人		包括		30,000円		27,600円	2,400円	
	③250円(保険代20円含)		介護						
			生活						
ノルディックウォーキング	①高齢者全般	6,000円	地活						
	②10人		包括		6,000円			6,000円	
	③50円(保険代)		介護						
			生活						
体カチェックサポーター養成講座	①介護予防ボランティア	10,500円	地活						
	②10人		包括	10,500円			10,000円	500円	
	③0円		介護						
			生活						
スリーA講座(仮)	①介護予防ボランティア	30,500円	地活						
	②10人		包括	30,500円			30,000円	500円	
	③0円		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業収支計画書

## 横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
介護者のつどい	①一般		地活					
	②		包括					
	③0円		介護					
			生活					
大場あんしん講座	①一般		地活					
	②30人		包括					
	③0円		介護					
			生活					
一芸ボランティア養成講座 (バルーンアート)	①地域活動に関心のある方		地活					
	②30人		包括					
	③700円		介護					
			生活					
アセスメント	①一般		地活					
	②		包括					
	③0円		介護					
			生活					
協議体	①一般		地活					
	②		包括					
	③0円		介護					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

## 横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
オアシス游	<p>(目的)</p> <p>①地域の元気高齢者の外出の機会の創出。 ②地域で顔見知りを作る。</p> <p>(内容)</p> <p>ボランティアによる手作りの昼食会</p>	4月・6月・8月・10月の第1(水) 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健身操	<p>(目的)</p> <p>①地域の高齢者の介護予防につなげる。 ②地域での顔見知りを作る。</p> <p>(内容)</p> <p>椅子に座ってできる介護予防体操教室</p>	毎月第2・4(木) 全24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気になる体操	<p>(目的)</p> <p>①地域での仲間づくり。 ②介護予防と体力づくり。</p> <p>(内容)</p> <p>コグニサイズを取り入れた介護予防体操</p>	毎月第1・3・4・5(火) 全39回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボーイズクラブ	<p>(目的)</p> <p>①地域の男性が地域活動につながるきっかけを作る。 ②男性の地域活動の活性化。</p> <p>(内容)</p> <p>男性を中心とした男性の地域活動参加を目指すグループ</p>	毎月第4(木) 全12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
年賀状講座	<p>(目的)</p> <p>①地域の方の高齢者同士の交流の促進。 ②ケアプラザについて地域住民への広報を図る。</p> <p>(内容)</p> <p>60歳以上の方を対象とした水彩による年賀状講座</p>	12月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこランド	<p>(目的)</p> <p>①地域の乳幼児のいる親子の閉じこもり防止。 ②同世代の子を持つ親子が地域で仲間づくりができる。</p> <p>(内容)</p> <p>幼児リトミック</p>	前期：4月～7月 後期：9月～12月 第1（木）を除く毎週（木） 全22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さくらんぼひろば	<p>(目的)</p> <p>①地域の子育て中の養育者と未就園児が互いに交流ができる。 ②養育者の地域での仲間づくり。 ③ボランティアを含めた世代間交流。</p> <p>(内容)</p> <p>親子が自由に遊べるフリースペース</p>	毎月第1（木） 全11回 ※ 5月除く

事業名	目的・内容	実施時期・回数
とっぴんぱらり	<p>(目的)</p> <p>①地域の乳幼児のいる親子の閉じこもり防止。 ②地域の親子の交流の促進。</p> <p>(内容)</p> <p>親子で参加するわらべ歌の教室</p>	毎月第2（金） 全12回



事業名	目的・内容等	実施時期・回数
WITHクリスマス会	<p>(目的)</p> <p>①地域の常設の子育てひろばのPRと地域ケアプラザが子育て中の方が利用できる施設であることの周知。</p> <p>②地域の子育て中の方のリフレッシュ。</p> <p>③同世代の子を持つ保護者同士が知り合うきっかけ作り。</p> <p>(内容)</p> <p>親と子のつどいの広場WITHと共催で行うクリスマスイベント</p>	12月頃 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
幼児安全法	<p>(目的)</p> <p>①地域の子育て中の方が、子どもの病気・けがの際の対応を学ぶことで、子育て中の不安を軽減する。</p> <p>②地域の育て支援を行うボランティアの方のスキルアップ。</p> <p>(内容)</p> <p>日赤幼児安全法指導員による幼児安全法講座</p>	3月頃 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこランドプレ	<p>(目的)</p> <p>①同世代の子を持つ保護者同士の交流のきっかけづくりを目的としたにこにこランドへの参加につながる。</p> <p>②体験を通すことで、子育て中の方に事業を知ってもらうきっかけを作る。</p> <p>(内容)</p> <p>にこにこランド卒業生による自主グループの見学会と体験会</p>	3月頃 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
チューリップシアター (人形劇公演)	<p>(目的)</p> <p>①子育て中の保護者のリフレッシュの機会を設ける。</p> <p>②乳幼児と保護者の外出機会の創出。</p> <p>③子育て世代と一般の方が同じものを見、空間を共有することで相互理解と交流を図る。</p> <p>(内容)</p> <p>座♪とんとんによる人形劇公演</p>	12月頃 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
キッズフラワーアレンジメント	<p>(目的)</p> <p>①ケアプラザとなじみの薄い就園児または小学生にケアプラザに来館してもらうきっかけを作る。</p> <p>②参加者がお互いの作品を見ながら会話することで、学年を超えて交流できる。</p> <p>(内容)</p> <p>こどもを対象にしたフラワーアレンジメント講座</p>	5月・6月 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
面白科学で工作	<p>(目的)</p> <p>①地域の小学生やその保護者にケアプラザに来館してもらうきっかけを作る。</p> <p>②ボランティアと小学生の世代間交流の促進。</p> <p>(内容)</p> <p>小学生を対象とした工作教室</p>	8月頃 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でクッキング	<p>(目的)</p> <p>①地域の小学生やその保護者にケアプラザに来館してもらうきっかけを作る。</p> <p>②ボランティアと小学生の世代間交流の促進。</p> <p>(内容)</p> <p>親子で作る簡単料理教室</p>	7月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア講座(仮)	<p>(目的)</p> <p>これからボランティアを始めてみたい人が地域の様々な活動につながるきっかけを作る。</p> <p>(内容)</p> <p>ボランティアをスタートしたい方向けの講座</p>	未定

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親あるうちの準備を考える連続講座	<p>(目的)</p> <p>①障がいのある方やその家族が今後についての必要な情報を得ることができる。</p> <p>②ほっぷについて、地域へ周知する。</p> <p>(内容)</p> <p>後見的支援室ほっぷと行う障がいのある方の保護者の方を対象とした連続講座</p>	平成30年7月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
全館清掃	<p>(目的)</p> <p>①ケアプラザの貸館利用団体同士の交流。</p> <p>②登録団体が施設に愛着を持ち、きれいに使おうという意識付けができる。</p> <p>(内容)</p> <p>登録団体と一緒にを行う館内及び敷地内庭清掃</p>	平成30年5月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かやのき名画座	<p>(目的)</p> <p>①地域の高齢者、特に男性の外出機会の創出。</p> <p>②ケアプラザを地域の方に知ってもらおう。</p> <p>(内容)</p> <p>映画会</p>	4月・10月の第3 (水) 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かやのき祭り	<p>(目的)</p> <p>地域の方に地域ケアプラザの役割や地域の団体の活動を知ってもらおうきっかけを作る。</p> <p>(内容)</p> <p>施設祭り</p>	11月 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
納涼祭	<p>(目的)</p> <p>①様々な世代の方が同じイベントに参加することによる世代間交流の促進。</p> <p>②夏休みの小学生及び乳幼児の余暇支援。</p> <p>(内容)</p> <p>地域の方を対象とした流しそうめん</p>	7月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かやのき土曜コンサート	<p>(目的)</p> <p>①地域の音楽家の方に地域活動に関心をもってもらうきっかけを作る。</p> <p>②地域の方がケアプラザに来館するきっかけづくり。</p> <p>(内容)</p> <p>地域の音楽家の方を招いてのコンサート</p>	5月・7月・9月・11月・1月・3月の第4(土) 全6回 ※第2に変更することあり

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東海道五拾参次の旅の魅力	<p>(目的)</p> <p>①地域の男性の外出の機会の創出。</p> <p>②地域活動団体を知ってもらうきっかけを作る。</p> <p>(内容)</p> <p>旧東海道に関する講義</p>	2018/4/21 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東海道五拾参次ウォーキング	<p>(目的)</p> <p>①歩くことを通して、また、共通のゴールを目指すことで、参加者同士の交流を図る。</p> <p>②楽しんで体力づくりをする。</p> <p>(内容)</p> <p>旧東海道を実際に歩いてみる講座</p>	1回目：5月 2回目以降未定 全3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	<p>(目的)</p> <p>①ボランティア同士の交流の促進と情報交換の促進。 ②ボランティアがスキルアップのための学習の機会を設ける。</p> <p>(内容)</p> <p>ボランティア向け研修と交流会</p>	未定 1回/年

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>(目的)</p> <p>地域の方に認知症を正しく理解して頂き、認知症の方々が安心して過ごせる地域づくりを目指す。</p> <p>(内容)</p> <p>養成講座の開催</p>	年 4 回予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
包括カンファレンス	<p>(目的)</p> <p>ケアマネジャースキルアップ。関係者間の連携強化。</p> <p>(内容)</p> <p>①エリア内のケアマネジャーを対象に、勉強会や交流会、情報提供を行う。 ②民生委員や医療（医師、訪問看護師、薬剤師）との連携の場を設ける。</p>	月 1 回程度

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新任ケアマネ研修	<p>(目的)</p> <p>新任ケアマネジャーの育成、連携強化。</p> <p>(内容)</p> <p>区内の新任ケアマネジャーに、区内包括地域支援センター合同でオリエンテーションや研修、実習を行う。</p>	11月～2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ねっとわーく 青葉	<p>(目的) 区内5連絡会（ケアマネジャー、訪問介護、通所、訪問看護、施設）の顔の見える関係づくり。連携強化。</p> <p>(内容) 区内5連絡会の顔の見える・相談し合える関係づくりのために顔を合わせと意見交換会等を行う。</p>	<p>全体会（2月） エリア会（9月）</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あおばイキイ キ！！元気塾	<p>(目的) 介護予防に関する知識の普及啓発</p> <p>(内容) 介護予防教室。ロコモ予防・口腔ケア・栄養改善・認知症の予防について講座を開催。</p>	<p>年8回実施。</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はつらつ体力 チェック	<p>(目的) 自身の体力を客観的に把握する機会を設けることで、介護予防・健康づくりの取組みを継続するきっかけ作り。</p> <p>(内容) 体力測定会</p>	<p>年に2回 7月29日と11月末頃</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
結果説明会 +ミニ健康講座	<p>(目的) 体力チェックの結果を踏まえ、参加者自身の体力を知ること、介護予防の取組みに対するモチベーションアップと具体的な取組みに繋げる。</p> <p>(内容) 体力チェックの測定結果の読み方・活かし方、介護予防（運動・栄養・口腔ケア・社会的役割）の大切さを伝える。</p>	<p>年に2回 8月と12月頃</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
スクエアステップ	(目的) 楽しみなが転倒予防、認知向上をめざす。 (内容) ストレッチ、筋力アップ体操、スクエアステップ	毎月2回 第2・第4金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ノルディックウォーキング	(目的) ロコモティブシンドロームの予防と仲間づくり (内容) 2本のポールを使用して歩く、全身運動。	毎月1回 第4火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体力チェックサポーター養成講座	(目的) 体力測定会を共に行うボランティアの育成と既に活動されているサポーターの支援。体力測定会に参加するのみでなく、男性の参加者が多いという事業特性を活かし、男性の活動参加のきっかけづくりを行う。 (内容) 体力測定会を共に行うサポーターの育成・支援。	年に1回予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スリーA講座(仮)	(目的) 認知症カフェやサロン等のボランティアやサポーターに対し、認知症を理解し、認知症予防の視点を活かした活動ができるようにする。 (内容) スリーAを取り入れた認知症予防講座。	10月～11月頃 3回講座

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	<p>(目的) 介護者の介護ストレスの軽減及び介護者間の交流の場づくり。</p> <p>(内容) 介護者間の情報交換会及び介護に関する情報提供。</p>	11回/年 7月を除く毎月第4水曜日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
大場あんしん講座	<p>(目的) 高齢化社会を見据え、地域の方に役立つ講座を連続開催。</p> <p>(内容) 介護保険、認知症、エンディングノート・成年後見制度、消費者被害の情報について連続講座。</p>	6月9日、16日、30日、7月7日の計4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
一芸ボランティア養成講座 (バルーンアート)	<p>(目的) ① バルーンアートの技術を学ぶ ② 共通の趣味を通しての地域住民の交流 ③ 地域ボランティアグループの育成 ④ 地域活動について学ぶ</p> <p>(内容) ① バルーンアート技術やトーク技術などを学ぶ。 ② ボランティア活動について学ぶ。</p>	4月10日、24日 5月8日、22日 6月12日、26日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
アセスメント	<p>(目的) ① 社会資源等の地域情報の収集 ② 顔の見える関係作りの構築 ③ 個別課題・エリア課題の把握に努めます。</p> <p>(内容) ① 日常生活上のアンケートの実施。 ② 地域活動（サロン等）への参加。 ③ 民間企業を訪問し、高齢者を対象とした取組を把握。</p>	アンケート実施 7月頃



事業名	目的・内容等	実施時期・回数
協議体	<p>(目的)</p> <p>①アセスメントにより把握した課題の解決に向けた話し合いの場づくり。  ②新しい担い手づくり  ③ネットワークづくり</p> <p>(内容)</p> <p>①健幸笑てんの活動支援  ②ちょこっとボランティア講座の実施  ②シニアボランティアポイント研修の実施</p>	<p>内容①年6回  内容②9月頃  内容③7月20日</p>